

整理番号

◎添付書類を含め、A4サイズ  
片面で統一してください。

自然公園を活用した誘客促進補助金事業計画書

令和4年 5月 ○日

島根県知事 様

事業の名称	植物観察会とキャンプ場活用を組み合わせた体験プログラム造成事業		
活用する自然公園等の名称 (該当に○を する)	・大山隠岐国立公園                      ・比婆道後帝釈国定公園                      ・西中国山地国定公園 ・( ○○○○ ) 県立自然公園 ・中国自然歩道 (コース名または区間 )		
補助対象事業費 (単位：円)	3,030,000円		
消費税等仕入税額控除の実施の有無 (該当に <input checked="" type="checkbox"/> )	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
事業者 (団体)名	○○の会		
代表者	(職名) 会長	(氏名) ○○ ○○	
事業者(団体)の 所在地	〒○○○-○○○○ 島根県○○○町○○		
電話番号	○○○○	FAX番号	○○○○
E-mailアドレス	○○@○○○○		
Webサイト	URL <a href="https://○○...">https://○○...</a>		
担当者	○○ ○○		
担当者連絡先	〒○○○-○○○○ 島根県○○○町○○ 電話番号： ○○○○○○○○ FAX番号： ○○○○○○○○ E-mailアドレス： ○○○○@○○○○		

※「担当者連絡先」欄は、必ず記載してください。

※ 申請内容について照会させていただく場合がありますので、提出書類は、必ず写しを保管しておいてください。

## 事業計画書

## 1. 事業内容

<p>(1) 事業の目的と概要</p> <p>この事業の目的（ねらい）と事業内容を具体的かつ簡潔に記入してください。（必要に応じて、詳細を別紙で添付してください。）</p> <p>全ての項目を必ず記入してください。</p>	<p>①活用する自然公園等の現状・課題</p> <p>〇〇〇〇県立自然公園は、〇〇川と〇〇山を含む区域で、キャンプ場や遊歩道が整備されている。利用者は日帰り登山や温泉、近隣施設〇〇などの利用が多い傾向にあるが、年間を通じて来訪者は減少傾向にある。〇〇には希少な植物〇〇草も自生しており、〇〇（ボランティア団体）が保全活動を行っている。近年は、高齢化も進み、参加者も減ってきているため、担い手の確保が課題である。</p> <p>希少な植物〇〇草の保全と活動の継続、キャンプ場を活用した公園の誘客策が課題となっている。</p> <p>②事業の目的及び内容</p> <p>〇目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・キャンプ場を活用した県立自然公園への来訪者・滞在者の増加</li><li>・希少な植物〇〇草の保全活動への参加者と活動資金を得る</li><li>・近隣施設〇〇や日本遺産〇〇と連携した、周遊の促進</li></ul> <p>〇内容</p> <p>キャンプ場と遊歩道を活用したプログラムと希少な植物〇〇草の観察会を組み合わせたツアー造成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・メディア向けモニターツアーと一般参加者向けツアーの実施（渓谷の遊歩道のトレッキングと観察会など盛り込む）</li><li>・観察会のためのガイド養成（専門家を招聘して講座を開催する）</li><li>・地元の食材を活用したキャンプ場での食事提供（地元飲食店と協力して実施）</li></ul> <p>③事業の実施期間</p> <p>令和4年8月～令和4年12月末</p>
<p>(2) 事業効果</p> <p>全ての項目を必ず記入してください。</p>	<p>【事業実施により期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・キャンプ場の活用や、周辺の施設、資源と連携することで利用が促進される</li><li>・体験ツアーの造成により、県立自然公園への誘客が図れる</li><li>・周辺の〇〇施設への来訪も増えることで、地域の活性化が図れる</li><li>・希少な植物〇〇草の保全活動の継続と関心のある方が増えることで、新たなボランティア参加も期待できる</li><li>・〇〇〇〇・・・</li></ul>

【誘客（交流）等の目標数値】

①県内外からの参加人数（集客数）の見込み  
（事業化年度及び今後の見込みを分けて記載のこと）

○R4年度の見込み（モニターツアー等含む）

	総集客数 (ア)	アの内、県内参加	アの内、県外参加
人数	50名	30名	20名

○R5年度以降の見込み（年間）

	総集客数 (ア)	アの内、県内参加	アの内、県外参加
人数	100名	60名	40名

②その人数を見込む根拠

R4年度はメディア向けモニターツアー1回と一般参加者体験ツアーを4回実施する見込み（10名×5回）

R5年度以降は、ツアーの商品化により年間10回実施を想定（10名×10回）

③その他、期待される効果（自由記載）

- ・地元食材を使ったメニュー開発なども行い、宿泊施設とセットでのツアー販売や、渓谷の景観を利用したイベント開催（溪流釣り、自然観察会など）など新たな体験メニュー開発も期待できる
- ・○○○・・・

(3)事業の実施体制

事業の実施体制を記入してください。（統括責任者、業務ごとの責任者、業務分担、周辺の他団体との連携、支援や協力を得る機関など可能な限り具体的に記入してください。）

<実施体制> ○○の会  
 統括責任者 ○○○○  
 経理担当者 ○○○○  
 体験ツアー責任者（旅行会社との連携）○○○○  
 <協力団体>  
 ガイド養成責任者 ○○（ボランティア団体）  
 旅館組合代表 ○○○○  
 土産物店組合代表 ○○○○  
 農産物直売所 責任者 ○○○○  
 ○○町○○課 担当者 ○○○○（町営キャンプ場管理）  
 ○○町観光協会  
 ○○交通

(4) 事業の実施 スケジュール	4月	
	5月	
	6月	※交付決定は7月上旬の見込み
	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイド養成講座</li> <li>・遊歩道トレッキングコースの確認</li> <li>・食材の検討</li> </ul>
	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニター募集</li> <li>・モニターツアー（1回目）一般向け</li> </ul>
	9月	〇〇草の見頃期間（8月中旬～9月下旬）
	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニターツアー（2回目）メディア向け</li> </ul>
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検証</li> </ul>
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績報告書提出</li> </ul>
	1月	
	2月	※事業期間は2月末まで
	3月	

(5) 事業のアピールポイント	<p>事業計画の提案にあたり、貴団体で創意・工夫された点や、これまでの取組をふまえた事業の新規性・地域の他団体との連携など、アピールポイントを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の組合や、保全活動団体などはこれまで連携して事業を行うことはなかったが、地元の資源を活かした取組を一緒に行うことで、継続した取組につながると考える。</li> <li>・町営のキャンプ場は、これからアウトドアが注目される中で、よりニーズにあった形で利用していくことが可能</li> <li>・〇〇・・・</li> </ul>
-----------------	---

(6)国、市町村等との連携	<p>連携して行う内容について、具体的に記入してください。(協議を進めているもの、今後協議をおこなうもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町営キャンプ場の利活用について、〇〇の会は町と地元の〇〇協議会、観光協会と協議を進めている。今回造成する体験プログラムにキャンプ場の活用も取り入れて造成していく。</li> <li>・近隣の施設〇〇は町営施設であり、体験メニューの開発と受入で、協力していく予定。</li> <li>・〇〇町観光協会のHPや観光パンフレットでの情報発信予定</li> <li>・〇〇・・・</li> </ul>
---------------	--

(7)その他	<p>感染防止対策として講じる措置（見込み）の他、特に説明しておきたい事柄があれば、記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症防止対策として、体験ツアーは参加者を10名までとし、密にならないようにする</li> <li>・食事提供は、感染症対策をとった上で行う</li> <li>・トレッキングコースの安全確認を〇〇と連携して、事前に行う</li> </ul>
--------	--

## 2. 収支計画

### (1) 収入

(単位：円)

細目	金額	積算根拠(数量、単価等)
補助金	1,515,000	島根県の「自然公園を活用した誘客促進補助金」
参加費	120,000	一般参加者の参加費@3,000×10名×4回
自己資金	1,475,000	
合計	3,110,000	

### (2) 支出

(単位：円)

細目	金額	積算根拠(数量、単価等)	うち補助対象
委託費	2,200,000	ツアー委託費※別添見積書のとおり	2,200,000
講師謝金・費用弁償	20,000	ガイド養成講座講師謝金等 (謝金@8,000+旅費@2,000)×2名	20,000
使用料	200,000	ツアー用車両借り上げ※別添見積書のとおり	200,000
印刷製本費	400,000	ツアー広報※別添見積書のとおり	400,000
保険料	50,000	ツアー参加者 @1,000×10名×5回	50,000
材料費	150,000	〇〇、〇〇購入費	150,000
謝金	10,000	観察会受入団体への謝金	10,000
食料費	60,000	ツアー一般参加者昼食@1,500×10名×4回	0
消耗品費	20,000	ツアー一般参加者景品代@500×10名×4回	0
合計	3,110,000		補助対象額計 A 3,030,000
			補助申請額 (A×補助率 1/2) ただし、補助限度額以内で 千円未満切り捨て 1,515,000

※ 収入細目は、補助金、自己資金、事業収入等を記入してください。

※ 支出細目は、自然公園を活用した誘客促進補助金交付要綱別表に定める補助対象経費の経費区分により記入してください。